

ふくし大作戦！！！！2017

あんしん生活サポート事業

研修・交流会

～結果報告書～



地域に広げよう！！
あたたかな活動を！！

苫小牧市社会福祉協議会

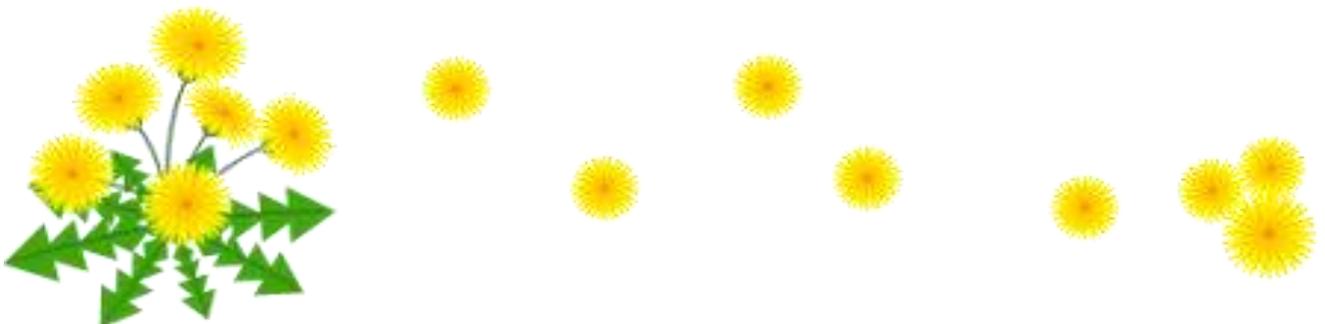


今回の研修交流会では、ご出席いただいた皆様に7包括圏域ごとのグループに分かれ、「地域でつながりをつくる取り組み」、「地域で見守り体制をつくる」、「地域で若い世代を活動に巻き込む」の3つのテーマの中から、地域で実際に取り組みたいテーマを選択していただき、各取り組みについての様々なアイデアや、実際に行っている取り組みについてなど、見守りやつながりをつくるための様々なお話をいただきましたので、結果報告書にてご報告いたします。

皆様からいただいた結果を踏まえながら、今後地域で取り組んでみたい活動などを実現するため、各町内会に訪問しながら、住民主体による地域課題の解決力強化、体制づくり構築を一緒に考え取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解とご協力の程宜しくをお願いいたします。

平成30年5月

苫小牧市社会福祉協議会
地域福祉課地域福祉係



ふくし大作戦!!!2017

あんしん生活サポート事業研修・交流会(H30.2.13 開催)

グループワークでのみんなの声ランキング BEST5

地域が保育園や学校の行事に参加したり、保育園や学校が地域の行事に参加したりなど、世代を問わない地域のつながりの力を強めたい!

1位 世代間交流を深めたい!

町内会内、民生委員、地域包括支援センター、市役所、社協、学校、コンビニ、新聞販売店等情報共有することで、より地域に関心を持つ機会が増えそう!

あいさつはとても大切。あいさつを増やし、顔見知りを増やしたい!笑顔溢れる地域をつくりたい!

3位 もっとあいさつを!

ヤクルトの「愛の一声運動」の活用やポストの確認など見守られているという安心をもっと増やしたい!

4位 見守り

マップを作って地域の見守りをより視覚化したい!マップ作りを通して情報をもっと共有できる!

5位 マップをつくりたい!

たくさんの様々な声がありました。

みなさんの「よりよい地域をつくりたい!」

という想いは殿堂入りです。



グループワークテーマ：地域で見守り体制をつくる

○見守り支援者の見える化

《具体的にできること》

- 大きい単位でマップを作っていく民生委員、薬剤師、防災部など
- 町内会の中で色々な役員との情報共有（福祉部、民生委員、防災部などが連動して情報を集める）
- 民生委員…4月に65歳以上高齢者の方の名簿がくる。
- 薬局…薬を届けて行くときに生活の問題や情報がわかる。

双葉町町内会…1月からあいさつ運動をはじめようと、取り組んでいる。

新明町町内会…色々な方と話し合いをしていきたい。縦割りで上手く展開していない。



1グループ：三光地域包括支援センター圏域

新明町町内会
双葉町町内会
三光地域包括支援センター
双葉地区民児協
北海道ファーマライズ(株)ふじい薬局
社協居宅介護支援事業所

グループワークテーマ：地域で見守り体制をつくる

○町内会活動

《具体的にできること》

- ふれあいサロン活動
→たくさんの人に参加してもらい、多くの周りの方を誘ってほしい。
- 中学校のボランティアクラブの活動
→町内会と学校がつながり役割を持って活動してくれているので、世代間交流ができています。※先生が変わっても活動がつながっている。
- 自宅前の雪かきで声掛けを行う→まずは隣近所から
- 町内でパトロール隊を結成→変質者が減った。
見守り隊（朝）ボランティアでしてくれている
→変質者が減った→人の目があることが大事。
- 町内会より
災害時のマップづくりはできている。（町内会で）
役員の高齢化
行事の手伝いをしてくれる人はいる
（役員にはなれないと断られる）



2グループ：三光地域包括支援センター圏域

明野柳町町内会・北地区民児協
三光地域包括支援センター
鉄北地区民児協
苫小牧ヤクルト販売株式会社
北海道新聞武知販売所
社協居宅介護支援事業所

- 新聞販売所より

心配な方の通報をしても、何も報告が無いので結果が分らない。

情報の共有、ガイドラインの作成、役所としての役割は？

★今ある活動で無理なく活動していくことが大切

グループワークテーマ:地域でつながりをつくる取り組み

《具体的にできること》

- あいさつをする→顔見知りをつくる
- 誘う→高齢者、ひとり暮らしの方の存在を地域の方に知ってもらい声掛けを行う。
- 町内会活動（お祭りなど）→学校、学生と協力する
- 学校だより、町内会だよりを活用
- 地域のお店との連携→高齢者、認知症の方に対しての情報を共有。
コンビニ、新聞販売店など。



こんにちは

3 グループ: 中央地域包括支援センター圏域

春日清水町内会
汐見町町内会
南地区民児協
緑ヶ丘地区民児協
中央地区民児協
セブンイレブン 苫小牧春日町店
苫都病院指定居宅介護支援事業所
社協居宅介護支援事業所

グループワークテーマ:地域で見守り体制をつくる



- ヤクルト「愛の一声運動」の活用
- 高齢者から子供まで「三世代交流」の推進

○見守りについての活動、問題点

- 茶話会の実施
- 新聞ポストの確認
- 地域包括支援センターとの連携
- 町内会活動などに関心が無い
- 町内会に加入しない
- 民生委員の訪問拒否
- 緊急連絡先が分からない

○4月以降どう活動して行くか？

- 回覧板の活用
- 声掛け、行事の案内（さそう）

4 グループ: 中央地域包括支援センター圏域

若草町内会・東地区民児協
若草団地町内会
中央地区民児協
東地区民児協
中央地域包括支援センター
苫都病院指定居宅介護支援事業所
苫小牧ヤクルト販売株式会社
社協

グループワークテーマ：地域でつながりをつくる取り組み

- ・あいさつが最も重要な取り組み※大人ができていない
- ・地域と学校とが共有する時間づくり（児童センターなどへ町内会がお手伝いをする）
- ・消防（防災）訓練を通して集まる場所づくり
- ・学校とつながるためのきっかけづくり→双方の行事参加

※4月以降どう活動して行くか？

- ・大人からあいさつをしていく



5 グループ：南地域包括支援センター圏域

西町親交会
大成町公住町内会（九階自治会）
苫小牧LPガス事業協同組合
南地域包括支援センター
光洋居宅介護事業所
大成地区民児協
社協

グループワークテーマ：地域でつながりをつくる取り組み

- ・学校、子供、地域をつなげる。
- ・あいさつ運動
- ・学校行事、町内会行事へ協力し合いつなげる。
- ・コープ、ヤクルトの見守りを活用。
- ・食べる場の提供（食べる場には人は集まる）
地域食堂などでの交流
町内会での餅つき
老人クラブ活動での食事会
- ・出張健康教室の活用
- ・町内会通信の配付、活用
- ・町内会、民生委員活動の周知

【課題】

拒否ある人へのアプローチ
送迎できる資源の開発



6 グループ：南地域包括支援センター圏域

日吉町町内会
日吉町町内会・糸井地区民児協
南地域包括支援センター
光洋居宅介護事業所
西地区民児協
糸井地区民児協
苫小牧ヤクルト販売株式会社
生活協同組合コープさっぽろ
社協

グループワークテーマ：地域で見守り体制をつくる

○情報が欲しい

- ・気づける人が近くに住んでいる方が気づきやすい。
- ・両隣りの人との関係づくり。
- ・遠くに住んでいる家族にも電話や訪問をしてほしい。

○取り組み

- ・情報共有→マップ作り。
- ・町内会と幼稚園の交流を増やす。
- ・両隣の人に名刺を配る。
- ・訪問拒否のある人への継続した訪問（アプローチ）
- ・雪かきボランティア＝男性、中高生へ依頼。

【グループ参加者の気持ち】

- ・65歳はまだ若い→年齢でひとくくりにしなないで！
- ・独居の男性が繋がらなくて心配。



7 グループ：東地域包括支援センター圏域

沼ノ端中央町内会
北沼地区民児協
勇払地区民児協
東地域包括支援センター
苫小牧ヤクルト販売株式会社
社協居宅介護支援事業所

グループワークテーマ：地域でつながりをつくる取り組み

- ・お祭り、敬老会などの行事を子供たちと一緒にやる。



若いうちに町内会活動に巻き込む



地域版の地域食堂を子供達と一緒にやる。

- ・あいさつ近所での井戸端会議
- ・他の町内会の取り組みの情報共有、つながりの場づくり
- ・地域と専門職とのつながりの場づくり。
- ・定年退職後の男性とつながる。
- ・企業、お店とつながる。
- ・施設や学校の部活動とつながる



8 グループ：東地域包括支援センター圏域

新開明野元町町内会
北地区民児協
東地域包括支援センター
居宅介護支援事業所 拓勇
苫小牧市環境衛生部ゼロゴミ推進室
社協

グループワークテーマ：地域で見守り体制をつくる

-地域の特徴-

昭和 40 年代の戸建が多く、後期高齢者、ひとり暮らしの方が増加。

↓見回してみると

つながりが弱くなっている

↓

義理人情がなくなってきた

↓でも…

世話焼きな方は地域にいるのでは

↓どうやってみつける

町内会、区長や班長からの情報時からマップに落とす。

+

老人クラブのマンパワーが重要



9 グループ：西地域包括支援センター圏域

明德町 1 丁目町内会
スプリングタウン町内会
ケアプランセンターなつめ
錦岡東地区民児協
錦岡西地区民児協
西地域包括支援センター
苫小牧ヤクルト販売株式会社
社協

グループワークテーマ：地域で若い世代を活動に巻き込む

- 学校のボランティア活動とのつながり

町内会長、役員で検討

↓

学校と打ちあわせ

- 「来てください」型のイベントから「訪問型」へ変更。
 - 個人に向けた情報の発信
 - 餅つき大会は大人気→継続
 - 地域の中に名人をつくる
- 漬物名人とか…

10 グループ：西地域包括支援センター圏域

のぞみ町内会
錦岡東地区民児協
西地域包括支援センター
北海道ファーマライズ(株)ふじい薬局
苫小牧澄川郵便局
苫小牧市環境衛生部ゼロゴミ推進室
市総合福祉課



グループワークテーマ：地域で見守り体制をつくる

○知る：守秘義務を柱として

- ・マップ作りを通じて報告発信をする。
- ・町内会のイベント→例：〇〇農園など…触手を少しずつ延ばして行く。
- ・見守りのモデル地区を作って試験的に行う。
- ・心配なのは災害時。

民生委員と町内会が守秘義務を守りながら…

- ・見守られていると見張られているの違い。
- ・役員のなり手不足。
- ・高齢者に文書送付（情報が遠い、遅い）
- ・ネットワークをつくる。



11 グループ：しらかば地域包括支援センター圏域

川沿町町内会
しらかば東町内会
ケアプランセンターすまいる
しらかば地区民児協
しらかば地域包括支援センター
北新地区民児協
社協居宅介護支援事業所
市総合福祉課
宮の森町内会

グループワークテーマ：地域でつながりをつくる取り組み

○あいさつ運動

- ・町内会広報誌を学校へ配布
- ・月2回歩こう会に参加しながらあいさつをすすめる。
- ・町内会と小学校の連携は出来上がっている。（中学校では難しい）
- ・行事の中でまたはキャンペーンとして、取り組みを定着させる。
- ・交差点に立ってあいさつ運動を実施する（大人にも勇気をもって声をかける）
- ・防災のジャンパーや腕章などを着るとあいさつを行いやすいし、顔も覚えてもらいやすい。
- ・回覧板案内は時間がかかるため、全戸配付をしている。



○小中学校との連携

- ・子供の登下校のあいさつを進める。（それ以外のあいさつはできている）
- ・地域で決めたものを学校通信に入れてもらう。

○移動販売の強化

- ・サロンで出前講座をして、移動販売の情報を提供する。
- ・販売する側も声がかかると販売しやすい。
- ・町内会館での販売。
- ・サロンと移動販売を合同で開催。
- ・優待乗車証のPR

12 グループ：しらかば地域包括支援センター圏域

しらかば西町内会
桜坂町町内会
しらかば地区民児協
苫小牧ヤクルト販売株式会社
苫小牧しらかば郵便局
社協居宅介護支援事業所
市総合福祉課

グループワークテーマ：地域で若い世代を活動に巻き込む

- ・学校との連携→吹奏楽部、合唱部、ボランティア部を町内会のイベントに招待
 - ・山手保育園跡の有効活用→多世代が交流できる場所をつくれたら…
 - ・町内会館で地域食堂
 - ・ふくしの勉強交流会
 - ・広報車で町内会の週末イベント告知
- イベントに多くの住民（高齢者から若い世代）が参加してもらえよう。
- ・町内会広報を全戸配布、ホームページの設立（若い世代に知ってもらうため）
 - ・子供関係のイベントを増やし企画する
- 子供たちの若い親が町内会の役割などを知る機会となれば…
- ・山手地区3町内会合同で出来る事→例：合同イベントとして餅つき大会など…

【グループ内の若い世代の意見】

- ・町内会への加入の仕方がわかりにくいと思う
- 若い世代にはSNSの活用も有効だと思います。また小さな子供がいる世帯には、保育園や幼稚園などに協力をもらう事も良い方法ではないかと思います。



13 グループ：山手地域包括支援センター圏域

山手北光町内会
山手地区民児協
山手地域包括支援センター
苫小牧ヤクルト販売株式会社
社協

グループワークテーマ：地域でつながりをつくる取り組み

- ・あいさつ運動→自分からあいさつをすることが大切。
- 子供たちの登下校の際にも
- ・大人が積極的にあいさつをして習慣としていく
- ・住民と役員をつながり、町内会加入の促進。
 - ・情報発信し若い世代へ呼び掛けていく。
 - ・見守り活動→社協、地域包括
- みんなで話し合いをし活動につなげる。



14 グループ：山手地域包括支援センター圏域

見山町西町内会
介護支援センター桜木
山手地域包括支援センター
花園地区民児協
豊川地区民児協
社協

あんしん生活サポート事業研修・交流会（H30.2.13 開催）

参加者アンケート結果 ★参加者 107 名中 58 名回答

Q1 本日の「あんしん生活サポート事業 研修・交流会」内容（全体）はいかがでしたか？

- | | |
|-------------|-----|
| A.参考になった | 56名 |
| B.参考にならなかった | 2名 |

Q2 本日の実践報告を聞いて、「見守り・声掛け活動」を自分たちの地域の活動に取り入れたいですか？

- | | |
|-----------|-----|
| A.取り入れたい | 41名 |
| B.取り入れている | 12名 |
| C.検討したい | 5名 |

Q3 今後、地域づくりについて、定期的に話し合いを行う場を設ける予定ですが、参加したいと思いますか？

- | | | | |
|---------|-----|-------------|----|
| A.参加する | 56名 | | |
| B.参加しない | 1名 | ※内容により参加したい | 1名 |

Q4 あんしん生活サポート事業に関するご意見等、ありましたらご記入ください。

- ・小さい町内会でいつなくなるかわからない地域ですが、これからどうなるのか心配です。何か良い方法はあるのか。
- ・のぞみ町内会の取り組みにたいへん感動致しました。素晴らしいと思います。誰かとつながっていると考えることは、住みよい地域づくりと安心、安全あらゆる課題解決につながっていくと思います。
- ・大変勉強になりました。横のつながりを強くしたい。どうすれば良いか？気が付いた事自分から進んでやる…。がんばります。
- ・他の方の意見も聞けるので大変良かったです。
- ・私たちのテーマはつながりです。色々なつながり行事を通じて外に出たがらないお年寄りをつなげて行きたい。
- ・初めての参加でしたが、地域毎に事情が違うが自分の地域に合う行事を計画して取り入れて、つながりを持つ活動にしたい。
- ・実現に向けてがんばってください。
- ・他地区のお話を伺って参考にさせていただきます。
- ・今後とても大切な事業だと思います。
- ・各地域の取り組みと実際に活動している方のジレンマや今後の連携など、全世代まるごと支え合いの意識が必要だと思いました。高齢、障害、地区という区分のとらえから、一歩踏み出すことが必要だと考えました。

- 民生委員と話し合い、意見を聞ける機会が少ないので、今回の研修会は有意義でした。地域（地区の情報）が良くわかった。
- 古くからある町内会と新しい町内会で差はありますが、近隣の町内会と協力も必要かと思いました。「ふれあいサロン」を続けて行くことが大切と言う事でしたが、来てくれる人が少ないと心が折れてしまう事もあります、少ない人数からでも続けると言うのですが予算もあり…など不安もあります。やはり役員不足働きながらの協力…出来る事しかできません。コンビニに名簿を渡す事はNGだと思います。「高齢の役員がやめない」と言うのも失礼だと思いました。LPガスの炊き出しセットが気になりました。
- わからない情報なども民生委員さんやヤクルトさんなどから聞けて、本当に参考になりました。
- あんしん生活サポートの輪を2重、3重と多くの輪を作っていくことにより、安心が2倍、3倍になるかな？
- 色々な立場からお話しを聞ける良い機会になりました。
- こちらもしっかりやります。がんばってください協力します。
- 生活支援コーディネーターの方の普及を今後も広めて下さると良いと思います。
- これだけ沢山の皆様と話し合い考え、良いアイデアを出し合いながら、10~15年関わりを持っても、別機関に渡してしまうとぷっくり切れてしまう。むなしさも感じます。
- 市から町内会へ書類や要望が多すぎる。市職員にも町内会活動、ボランティアも参加して欲しい。
- 地域のたくさんの方々が地域で支え合う必要性が理解でき、活動できるようになるまで事業の継続が必要。研修交流会の開催参加でサポーター増員できるよう、私たちもお手伝いして行きたいと思います。
- 発表を聞いて参考になった。
- 地域住民のつながりを図る各種会合などに積極的に参加、ふれあいサロンなどにも参加しています。
- 今後も交流会などを企画してほしい。
- 研修交流会で質問時間があったら良かったと思います。
- 会場が狭くテーブルが多かったので自分のテーブルの向いの人の言っていることが聞こえにくかった。町内会の役員として参加したのですが、同じテーブルには民生委員の方が多く、その方の悩み相談みたくなってしまう、あまり意味のある交流会ではなかった。2回目とあまり変わらなかったと思います。